



平成30年7月10日
中部地方整備局
名古屋港湾事務所

伊勢湾内で半年分の漂流物を回収(速報)

～平成30年7月豪雨に伴う海洋環境整備船「白龍」の回収活動～

平成30年7月5日(木)から7日(土)平成30年7月豪雨に伴う大雨の影響により、伊勢湾内に河川から流入したものと考えられる流木をはじめとした大量の漂流物が確認されました。

国土交通省中部地方整備局名古屋港湾事務所は船舶航行の安全を確保するため、海洋環境整備船「白龍」(名古屋港湾事務所所属)により7月5日(木)から7月9日(月)までの土曜・日曜を含めた計5日間、流木等漂流物の回収作業を実施しました。

流木58本(約40m³)、草木約79m³の漂流物を回収しました。最大では幹径50cm長さ15mの流木もありました。この回収量は、白龍が一年間で回収する漂流物の約2分の1に相当するものです。

(参考資料-1)

なお、今回の大雨は終息したものの、河川の増水に伴う流木等漂流物の湾内への流入は継続していることから、航行船舶の安全保持と伊勢湾内の環境保全のため、引き続き漂流物の回収作業を実施します。

【参考】

「白龍」は、航行船舶の安全性の確保と海洋環境保全のため、伊勢湾及び三河湾の一般海域(約1,800km²)の漂流物の回収を行うと共に、油流出事故など災害発生時の油回収等を行う船舶です。(参考資料-2)

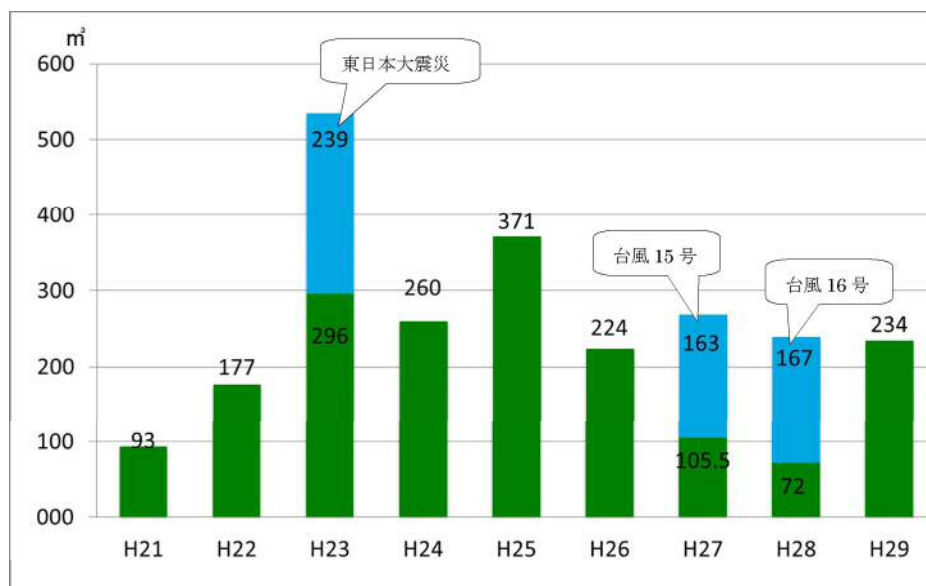
○配布先 中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス、マリタイムデイリーニュース

○問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 海洋環境・防災課 山口(やまぐち)
Tel 052-651-6791 Fax 052-651-3801

【7/5~7/8の漂流物回収位置及び回収量】

白龍漂流物回収実績



白龍による年度別漂流物回収量

【作業状況等の写真】



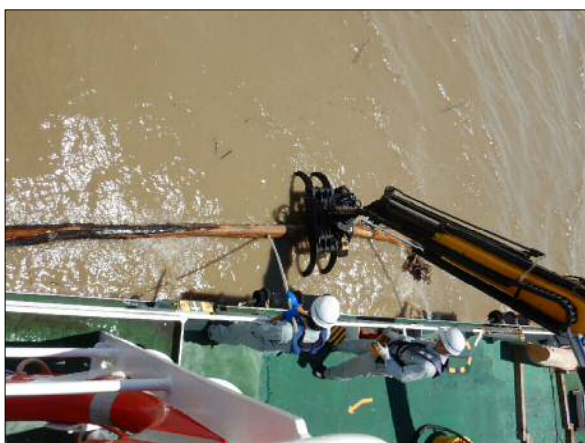
潮目に集まる漂流物



草木の回収状況(1)



草木の回収状況(2)



流木の回収状況(1)




流木の回収状況(2)

海洋環境整備船 「白龍」の概要

「白龍」の行う業務

- 通常は、伊勢湾・三河湾の海面浮遊ゴミの回収作業
- 油流出時には、速やかに流出現場に向かい油回収作業
- 伊勢湾の環境メカニズム解明のために、水質及び底質の定期的な観測を実施。
- 大規模地震・津波発生時の航路啓開。



担務海域
伊勢湾・三河湾 (1,800km²)



**東日本大震災における災害
支援(海上漂流物の除去)
(平成23年4月23日～5月19日)**

- 海上物流拠点の仙台塩釜港及び石巻港を有する仙台湾周辺海域において、航行船舶の安全を図るため津波により発生した大量の漂流物を回収。
- 漂流物回収量【239.1m³】